

介護職の仕事とこれからの期待

医療・介護・福祉のシゴトとサービス

今後ますます高齢化が進行する日本では、介護職の役割はますます高まっています。本特集では介護職の役割や将来性、現場で働く方の声をお届けします。



東京都高齢者福祉施設協議会とは？

東京都高齢者福祉施設協議会(以下「高齢協」)は、社会福祉法人東京都社会福祉協議会(東社協)の業種別部会連絡協議会に属する部会の一つとして、東京都内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、デイサービスセンターを会員とする組織です(会員数約1,200施設・事業所)。東京の高齢者福祉の発展と、福祉サービスの質の向上を目指し、業種別、職種別、テーマ別による委員会活動とおして、研修会の企画や調査研究、提言活動、ネットワークづくりに取り組んでいます。

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会

東京都高齢者福祉施設協議会 アンバサダー 町亞聖さんインタビュー

「フリーアナウンサー町亞聖さんから見る介護職」



◎ 意思をくみ取り実現する仕事

入浴や食事介助も大切な介護の仕事ですが、さらに利用する人の生活をより豊かにするケアや医療にはできない生活を支えるプロとして幅広いスキルが介護職には求められています。また「自分らしく最期まで」とすべての人が願っていますが、そのためには「どう生きたいのか」という意思をくみ取る必要があります。私はいま要介護の車椅子の方と一緒に来年の国際スポーツ大会を観戦するという目標を掲げたボランティアをしています。この目標を叶えるためにはどうしたら良いかを本人や介護職のみなさんと一緒に考えるプロセスを大切にしています。ささやかな希望を叶えるために家族の代わりに人生の最期に寄り添うことができるのも介護職の仕事の魅力だと思います。

◎ 介護の原点は「その人を知ること」

母はくも膜下出血で倒れた後、右半身マヒと言語障害が残りましたが、苦勞したのはコミュニケーションでした。文章を書くことができず単語しか喋れなくなった母。しかも、脳で「物」は認識できているのですが、正しく言葉にすることができないのです。ある日、母が左手で「L」字を作りながら何が言えないと訴えているのですが、口にするのは「パン」という言葉。でも欲しいものはパンではなく、その時は言い当てることができず、翌日、冷蔵庫を見るとマーガリンがないことが判明！母は「パンにぬるマーガリン」を表現していたのです。このように母との会話は毎日が「謎解き」のようでした。ヒントは母と過ごす日常の暮らしの中にあり、本当に想像力が養われました。失語症や認知症などで自分の意思や感情をうまく伝えられない方と向き合う時に介護職に求められるのはこの想像力であり、介護の原点は「その人を知ること」だと思います。

◎ 人間関係のバランスに

「できないことではなくできることを数える」私が母の介護で心掛けたことですが、実は家族だからこそこれが一番難しい。本人と家族には積み重ねてきた時間や関係があるからです。変わりゆく姿を見てショックを受けたり、本音で話することができなくなったりします。たとえば、大きな不安を抱え本人が混乱している認知症初期には、否定せずありのままを受け入れることや適切な対応やケアが重要なことが分かっています。家族だけで抱えずに、

町亞聖さん

日本テレビにてアナウンサー・報道記者として勤務後、フリーアナウンサーに。高校三年生の時に母がくも膜下出血で倒れ車いす生活となり、それから母が末期の子宮頸がんで他界するまでの約十年間、介護と学業・仕事を両立した生活を送る。この経験を活かし、現在はさまざまな場所で介護に関わる情報発信に取り組む。2016年より、高齢協のアンバサダーとしての活動も行う。



専門の知識を持ち適切な距離を保つことができる介護職のサポートを受けたいと思います。「ケアは専門家に任せて家族は愛することをしてください」こう医師から言われて納得したと話してくれた介護家族の方がいました。本人、家族、専門職とそれぞれができることをバランスよく実践できるかどうかは介護職の力量にかかっており、その実践も進んでいます。

◎ これからの社会での期待

より良い介護の実現を目指して日々の業務に取り組みながら学び続ける介護職のみなさんの姿には本当に頭が下がります。マンパワー不足などで理想を現実でできずに悩んでいる介護職も少なくありませんが、ぜひ一歩踏み出して学びを実践に移して欲しいと思います。認知症でも障がいのある方でもごちゃまぜに暮らせるまちづくりなど介護職だけでなく異業種や地域を巻き込んだ先進的な取り組みもすでに各地で始まっています。介護は単なるお世話をする仕事ではなく「自分が暮らしたい住まいや地域を作る」仕事へと進化しています。障がいのある方や認知症の人が生き辛く感じるのは本人のせいではなく環境に問題があるからです。この環境の改善に取り組むことこそ、これから介護職に期待されることではないでしょうか。



介護のシゴト⇔趣味 相互に活かした活動を行う「介護士ンガーアトム」



社会福祉法人台東区社会福祉事業団 特別養護老人ホーム 三ノ輪 介護福祉士 手塚 収

活動の内容

高校時代から続けている音楽活動を活かした介護を行っています。現在は、施設の行事中心に、利用者参加型の音楽プログラムを楽しんでいただいています。また、通常の業務でもレクリエーションにギターを使うことがあります。施設の外でも「介護士ンガーアトム」として、街のお祭りや飲食店でのライブ、他の施設での行事、障がい者施設、高校の文化祭など、さまざまな場所で活動しています。こうした活動からさまざまな人脈もできており、パラレルキャリアは介護の仕事でも活かされてくるものと思います。



音楽と介護

「音楽療法」という言葉があるように、音楽には人が健康に生きるための要素があり、介護でも生きてきます。ご利用者が笑顔になりますし、歌を楽しみにいただいています。また、懐かしい歌を聴くことや歌の練習は脳の活性化やリハビリテーションにつながります。音楽イベントは地域交流にもつながっています。反響として、参加者がボランティアになってくれることもありました。ギターを抱えて出勤し、勤務中に歌ってしまう仕事。介護職は自分の趣味を活かせる素敵な仕事と思っています。介護では人を喜ばせることも重要なため、エンターテインメントも必要です。こうした活動により、ご利用者の健康につなげ、互いによりよい時間を過ごせます。お年寄りも、子どもたちも、体の不自由な人も、みんなが幸せに暮らせる町であってほしい。そんな思いを持ちながら、地域での音楽活動を続けていきます。



介護を通じて得られる成長「いったん立ち止まって、ていねいに」



社会福祉法人三育ライフ 特別養護老人ホーム シャローム東久留米 介護福祉士 東京ケアリーダーズ 小林 祥子

気持ちとプライベートの面

介護ではコミュニケーションでご利用者の人生経験や想い・望みを引き出すことが重要ですが、初めてご利用者と接したときは何を話していいかわからず戸惑いました。今では時に自分のプライベートを話すことで過去の経験を引き出すなど、自然にリラックスしてご利用者とお話できるようになったと感じます。プライベートでは祖母との接し方が変わったと感じます。前には漠然と祖母と話をしたいという気持ちでしたが、祖母の親戚との関係を鑑みながら接したり、介護予防を意識したりしています。

今後の目標

ご利用者は家に帰りたいとしばしばおっしゃるので、体調を考慮しつつ一時帰宅に取り組みたいです。つねに挑戦し新しい発見を大事にして、今よりさらにご利用者の想いや願いを感じとれる介護職に成長していきたいです。

東京ケアリーダーズとは ▶ 東京都内で働く若手介護職員によるユニット。自分たちの言葉で「介護の仕事の魅力」を伝えることを目的に活動しています。

業務中での成長

2017年に介護福祉士養成校を卒業し、今年で入職3年目になります。入職時のご利用者の気持ちが高ぶったとき、慌ててしまいうまく対応できませんでした。今は自身の気持ちをコントロールして、気持ちの高ぶりにも良い形で対応でき、ご利用者に寄り添い安心して楽しんでもらえていてと感じています。人権に関する勉強をして、ご利用者への接し方も変わりました。入職時には何かを求められたとき「待ってください」と返すことができましたが、どれぐらい待てばいいかわからず、ご利用者は不安になります。これはスピーチロックという概念ですが、今は具体的に時間を言う、今の業務が終わったら行きますといった声掛けを心がけるようになりました。



プライベートも充実!



介護福祉士の働く環境

【資格の有無による年収の違い】

無資格者 平均年収 約369万円 < 介護福祉士保有者 平均年収 約438万円

これからも利用者が増え続ける成長安定産業・・・ ▶ 日本では超高齢社会を迎え今後さらに高齢者は増加するため、介護職の需要は今後も増大します。
働きやすい環境づくりが進められている・・・ ▶ システム導入による業務の効率化や不規則な労働の改善などの取り組みが行われています。
長期休暇や育児休暇・・・ ▶ 週休2日制や定年で退職できる施設が多数。スタッフ間での調整により長期休暇も可能です。
給与が低いわけではなく、キャリアアップも・・・ ▶ 東京都の調査では、右の表のようにキャリアを重ねることで年収が上がっています。また、調査時よりも給与は上昇傾向にあり、2019年10月には更なる処遇改善が予定されています。

平均年収	約399万	平均勤務年数	7年	介護職員(一般職)
平均年収	約478万	平均勤務年数	11.4年	介護職員(係長など)
平均年収	約544万	平均勤務年数	14.4年	介護職員(課長など)
平均年収	約772万	平均勤務年数	19.9年	施設長

出典:平成27年度 都内の特別養護老人ホームにおける介護労働者の給与モデル調査(東京都)